

収 支 決 算 書

収入の部

款	項	目	金額 (円)	内 訳 (節内訳を記載すること)
14. 県支出金	2. 県補助金	9. 教育費 県補助金	358,000	子どもを支える人権のまちづくり 促進事業
1. 町税	1. 町民税	1. 個人町民税	358,230	
計			716,230	

支出の部

款	項	目	金額 (円)	内 訳 (節内訳を記載すること)								
10. 教育費	5. 社会教育費	■■■■ ■■■■	716,230	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">報償費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">432,500</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td style="text-align: right;">11,600</td> </tr> <tr> <td>需用費 (消耗品費)</td> <td style="text-align: right;">266,733</td> </tr> <tr> <td>(印刷製本費)</td> <td style="text-align: right;">5,397</td> </tr> </table>	報償費	432,500	旅 費	11,600	需用費 (消耗品費)	266,733	(印刷製本費)	5,397
報償費	432,500											
旅 費	11,600											
需用費 (消耗品費)	266,733											
(印刷製本費)	5,397											
計			716,230									

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年 3月27日

木之本町長 岩 根 博 之



事業実施計算書

市町名 木之本町

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経	報償費	432,500円	円
			【 XXXXXXXXXX 】
			・調理広場 60,000 × 2人 120,000
			・宝物づくり広場 10,000 × 3人 30,000
			・パソコン広場 20,000 × 2人 40,000
			・もしもし広場 5,000 × 4人 20,000
			【子育て講座】
			・子どもを育てる調理教室 42,500 × 1人 42,500
			・いきいきボランティア塾 3,000 × 11人 33,000
			・子どもの人権講演会 2,000 × 1人 2,000
・子育て相談 35,000 × 1人 35,000			
・子育て講演会 17,500 × 4日 70,000			
・子育て講演会 10,000 × 1人 10,000			
			30,000 × 1人 30,000
補助対象経	旅費	11,600円	・もしもし広場 講師旅費 11,600
			【 XXXXXXXXXX 】
補助対象経	消耗品費	266,733円	・案内・申し込み用紙代 8,280
			・医薬材料代 9,995
			・調理広場 材料代 23,693
			・調理広場 調理消耗品代 17,856
			・パソコン広場 材料代 11,144
			・宝物づくり広場 材料代 31,502
			・宝物づくり広場 活動消耗品代 21,952
			・学習会 資料代 29,988
			・学習会 教材代 7,200
			・学習会 ファイル代 5,499

費		・学習会 シール代	3,800
		・学習会 用紙代	5,176
		・ふれあい体験交流 材料代	4,198
		【子育て講座】	
		・印刷インク代	3,780
		・PCプリンターカートリッジ	19,215
		・案内・資料用紙代	19,099
		・事務用品代	17,686
		・健康調理教室 材料代	8,110
		・健康調理教室 活動消耗品代	11,960
	・健康料理教室 資料代	1,200	
	・ボランティア教室 材料代	3,000	
	・講演会資料代	2,400	
印刷製本費	5,397円	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> ・写真現像代	2,460
		【子育て講座】	
		・写真現像代	2,937
通信運搬費	0円		
保険料	0円		
雑役務費	0円		
使用量及び 賃貸料	0円		
合計 (A)	716,230円		716,230円

【 補助金額 (A) × 1/2 】

【 358千円 】

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議、説明会等の事業区分毎に単価や員数を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

名 称	ふれあい体験交流	子育て講座 子ども育てる健康調理教室	子育て講座 いきいきボランティア教室
対 象	老人会・保護者・小学生	地域住民・保護者	地域住民・保護者
内 容 (テーマ)	地域の老人と保護者と子どもが昔の遊びやグラウンドゴルフを通して交流することにより、ふれあいを深める。	親や地域の人が、子どもの健康を考え、健康を守る場とする。	地域住民や保護者が、みんなで子どもの活動を支援したり協力したりできる人材を育成する。
参加者 (うち児童 生徒数)	のべ30人 (18)人	のべ49人 (3)人	のべ24人 (0)人
実施場所			
開催期間	平成19年 6月16日 平成19年 7月21日	平成19年12月上旬 ～ 平成20年 2月上旬	平成19年 6月中旬 ～ 平成20年 3月上旬
開催時間	4時間	10時間	21時間
事業実施 による 成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい体験交流(ユニカール、むかしの遊び)では、参加者が少数ではあったが、個別に関わってもらうことができ、活動意欲が継続できた。家族以外の人に教えてもらう子ども達の様子から、我が子への関わり方を考える保護者もあった。 ・親子での調理広場に参加された保護者が健康調理教室にも参加し、家庭でも子どもと一緒に調理している様子が見られた。また、乳児をもつ保護者と孫をもつ祖母と一緒に活動することにより、食育に関わる会話が広がった。 ・ボランティアとしての指導には消極的な保護者が、スタッフとして子どもの活動を見守る役割で参画して下さった。これまでよりボランティアとして指導して下さっている地域の方から声をかけてもらう子があり、つながりが深まった。 		

名 称	子育て講座 子どもの人権講演会	子育て講座 子育て人権講演会 子育て相談会	
対 象	地域住民・保護者	保・幼・小保護者	
内 容 (テーマ)	子どもの家庭生活を改善したり、学習意欲を育てたりするために大切なことを学ぶ。講演の後に、交流会を持つ。	子育ての悩みや不安を解消したり、子育てについて考えたりする機会として、家庭教育力の向上を目指す。	
参加者 (うち児童 生徒数)	のべ27人 (0)人	のべ129人 (0)人	人 ()人
実施場所			
開催期間	平成20年 2月29日	平成19年11月中旬 ～ 平成20年 1月下旬	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
開催時間	2時間	19時間	時間
事業実施 による 成 果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権講演会を通して、子どもを肯定的に見つめたり自尊感情を高めたりするにはどのように接するかを、具体例を通して学ぶことができた。 子育て講演会では、自分の子育てを見つめる機会をもつことができた。参加者の中には、講師の助言をすぐに実行し、「家庭の雰囲気が変わった」と知らせてくださる方もあった。 子育て相談会では、聞いてもらえることや自分の子育てを認めてもらえることで保護者の子育てに対する悩みや不安を和らげ、子どもへの接し方を改善しようとする意識を持ってもらうことができた。事後に、指導者への研修も行き、子育て支援のポイントを学ぶことができた。 		

名 称	お楽しみ広場	もしもし広場	・蛍雪学習会
対 象	園児・児童 保・幼・小の保護者	園児・児童・地域住民 保・幼・小の保護者	小・中の児童・生徒 保護者
内 容 (テーマ)	進路保障、家庭教育の課題 解決に向け、親子のふれあ いを深め、生きる力、生活 習慣等を身につける。	人形劇鑑賞や交流会、お話 会、身近な工作、昔の遊び、 スポーツ等を通して健康や 遊び方、マナー、資源活用 等を学ぶ。	進路保障・学習意欲づけの 場として、家庭での学習方 法や内容を提供する場とす る。
参 加 者 (うち児童 生徒数)	のべ308人 (272)人	のべ170人 (151)人	のべ815人 (782)人
実施場所			
開催期間	平成19年 8月上旬 ～ 平成20年 3月上旬	平成19年5月中旬 ～ 平成20年3月上旬	平成19年 5月中旬 ～ 平成20年 3月上旬
開催時間	26時間	11時間	69.5時間
事業実施 による 成 果	<ul style="list-style-type: none"> 調理教室や小物づくり・スポーツ・遊び・お話し会・人形劇鑑賞等に喜んだ参加し、生活経験を豊かにすることができた。作品を持ち帰ったり活動内容を話したりすることが家庭での会話のきっかけとなり、親子関係の深まりや変容の糸口となっている。子どもとのふれあいを求め、親子で参加される方もあった。 活動中、あいさつや片付けなど基本生活習慣や学習習慣が身につくよう働きかけ、自分からやろうとする姿が見られた。 活動での親子参加や学習会送迎の際に、学習状況を知らせたり保護者の悩みを聞いたりすることで、子どもに学習意欲を持たせることができた。また、家庭での指導について話し合うことができた。 		

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[REDACTED]

②取り組みの成果

「[REDACTED]」の親子参加の事業では、子どもに体験活動をさせたい、母子でのふれあいを深めたい、父子で一緒に活動をする場にしたい等の思いをもって事業に参加される方が多かった。事業後も、家庭で物づくりや調理等を一緒にしたと話される方もあり、親子のつながりの深まりや子どもの成長を認める姿が見られた。親子で参加することが、保護者から子どもへの積極的な働きかけの一步となり、子どもへの養育態度や親子関係の変容へとつながることが期待される。活動中、異学年での教え合い、地域の方とのふれあい、保護者同士の関わりが見られ、交流が深まった。本年度も、子ども・保護者ともに、これまで参加のなかった地域からの参加があり、交流の広域化が進んだ。

「子育て講座」では、就学前の子供を持つ保護者を対象に、相談会や講演会を行った。悩みや不安を話したり、子育てに関わる話を聞いたりすることで、保護者自身に余裕ができ、自分の子育てを見つめ直すきっかけになった。子育て相談後に、「来てよかった」「聞いてもらえてすっきりした」という感想が聞かれ、悩みや不安を一人で抱えている保護者にとって、個別の相談会は有効であった。講演会は、「絵本と子育て」「子育てにおける家庭の役割」という内容で実施し、保護者が実践している子育ての意味づけや具体的方法を聞くことができた。自分の子育てが間違っていなかったと確認された方やよりよい方法をすぐに家庭で実行された方があり、参加者は、子育てに対する自信を持つことができた。

学習会では、自己表現に課題をかかえる子が参加し、いきいきと活動する姿が見られ、様子を参観された保護者を驚かせた。学習会への参加をきっかけに、ほかの事業にも参加しようとする子どももあった。

どの事業においても、あいさつ、靴をそろえる、準備・片付け、用具の使い方等の基本的な生活習慣や学習習慣の定着のための働きかけ(声をかける、チェックカード等)をしてきた。回を重ねるごとに自分たちでやろうとする意識が見られるようになり、講師の先生に、個人的にお礼を言う姿も見られた。

③今後の方針

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

「[REDACTED]」を子ども対象だけの事業から、親にも参加を呼びかけ、子どもとともに活動したり、学習したりする機会を設けてきた。今後も、親が子どもとともに学ぶことにより、家庭での取り組みや子育てに変容が生まれることを期待し、体験的活動を充実させたい。子育てに悩む保護者の孤立化に対応できるよう、子育て相談会や講演会等も継続し、保護者同士、保護者と校園、子どもと地域の方のつながりが深まるようにし、子どもの人権を守る意識を育てたい。

様式第2-1号(第8条関係)

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書(総括表)

市町村名 木之本町
(単位:円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳							計	
		報償費	旅費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	保険料	雑役務費		使用料及び賃借料
ウ	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> お楽しみ広場 もしも広場 学習会 蛍雪学習会 ふれあい体験交流	210,000	11,600	180,283	2,460	0	0	0	0	404,343
エ	子育て講座 健康調理教室 いきいきボランティア教室 子どもの人権講演会 子育て人権講座	222,500		86,450	2,937					311,887
	合計	432,500	11,600	266,733	5,397	0	0	0	0	716,230